

事業シート(平成31年度決算)

事業名	41510 アスベスト対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
			項	1	保健衛生費		根拠計画			
			目	5	生活環境費					
担当課	都市政策部 建築住宅課	内線	2318							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・アスベストの飛散による市民の健康被害を予防し、生活環境の保全を図る。	概要	・アスベスト含有調査費に対する助成 ・アスベスト除去工事費に対する助成 ・調査、除却に向けた啓発活動
----	-------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		5,000	2,760	5,000	5,000	0	△ 2,760
特定財源	国費(アスベスト対策事業費 1/3、10/10)	3,000	1,760	3,000	3,000	0	△ 1,760
	県費						
	その他						
一般財源		2,000	1,000	2,000	2,000		△ 1,000
個票枝番	主な事業内容						
	アスベスト含有調査事業補助金	1,000	760	1,000	1,000	0	△ 760
	アスベスト除去等事業補助金	4,000	2,000	4,000	4,000	0	△ 2,000

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		3,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,000	3,000	3,000	△ 2,000	
3,000	2,000	2,000	△ 1,000	
2,000	1,000	1,000	△ 1,000	
査定額	説明			
1,000				
2,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成件数 アスベスト含有調査事業補助金 5件 アスベスト除去等事業補助金 1件</li> <li>・制度周知 広報たかやまへ助成制度を掲載 調査の結果、除去等事業の対象となることが判明した所有者への助成制度利用意向調査の実施</li> </ul>
評価等	・大規模な建築物の所有者への周知・意向調査は終了したため、更なる制度利用者の増加に向け、施工業者等への助成制度の周知・意向調査が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成件数 アスベスト含有調査事業補助金 0件 アスベスト除去等事業補助金 0件</li> <li>・制度周知 広報たかやまへ助成制度を掲載</li> </ul>
評価等	・大規模な建築物の所有者への周知・意向調査は終了したため、制度を利用した対策の推進に向け、施工業者等への助成制度の更なる周知や働きかけが必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・アスベストの飛散による市民の健康被害を防止するために必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	74105 建築政策推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全、活用、創出	
			項	4	都市計画費		根拠計画			
			目	1	都市計画総務費					
担当課	都市政策部 建築住宅課	内線	2318							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有建築物の安全・快適な利用を図る。</li> <li>・秩序ある整備を図り、都市の健全な発展に寄与する。</li> <li>・建築基準法、建設リサイクル法、省エネ法等により良好な居住環境を整備する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共建築工事に係る設計及び監理を実施する。</li> <li>・一定規模以上の公共建築物の定期調査を実施する。</li> <li>・都市計画制度の活用等により土地利用の規制、誘導を実施する。</li> <li>・建築確認及び各届出による確認を実施する。</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

	H30		H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)			9,429	9,429	6,424	6,424
特定財源						
国費( )						
県費( 県移譲事務交付金 )			44	44	33	33
その他( 確認申請、開発許可手数料、飛騨高山ふるさと基金繰入金 )			1,000	1,000	185	185
一般財源			8,385	8,385	6,206	6,206
個票枝番	主な事業内容					
	美しい景観と潤いのあるまちづくり審議会		392	392	82	82
	市有建築物の改築・改修等に係る設計		8,000	8,000	5,612	5,612
	特殊建築物定期調査報告					
	伝統的木工技術継承事業					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		18,089
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
17,242	18,089	18,089	8,660	
44	33	33	△ 11	
516	2,000	2,000	1,000	
16,682	16,056	16,056	7,671	
査定額	説明			
392				
9,000				
5,000	建築基準法第12条に基づく定期報告			
2,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有建築物の改修等に係る設計監理業務の委託17件</li> <li>・市有建築物の定期検査及び報告業務の委託6件(施設数15件)</li> <li>・建築確認申請(市)5件、建築確認申請(県)6件、完了検査申請7件、位置指定道路7件、都市計画法53条許可申請7件</li> <li>・美しい景観と潤いのあるまちづくり条例 大規模開発届出10件、中規模開発計画86件、小規模開発計画76件、景観重点区域内行為届90件</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観基準の市民への周知に加え、建築関係事業者・宅建協会等に対して景観基準・開発基準・手続き方法等の理解をより深めるための研修会を開催し、基準の順守や手続きの円滑化を推進する。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に対する景観基準の周知に加えて、建築関係事業者・宅建協会や行政書士会に対して景観基準・開発基準・手続き方法等の理解をより深めるための研修会を開催し、基準の順守や手続きの円滑化を促進する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有建築物の改修等に係る設計監理業務の委託13件</li> <li>・建築確認申請(市)3件、建築確認申請(県)6件、完了検査申請2件、位置指定道路5件、都市計画法53条許可申請5件</li> <li>・美しい景観と潤いのあるまちづくり条例 大規模開発届出11件、中規模開発届出92件、小規模開発届出75件、景観重点区域内行為届104件</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観基準の市民への周知に加え、建築関係事業者や宅建協会等に対して景観基準や開発基準、手続き方法等の理解をより深めるための研修会を開催し、基準の順守や手続きの円滑化を推進する。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に対する景観基準の周知に加えて、建築関係事業者や宅建協会、行政書士会に対して景観基準や開発基準、手続き方法等の理解をより深めるための研修会を開催し、基準の順守や手続きの円滑化を促進する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築、景観行政、開発許可等に係る事業に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	74120 建築物耐震対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	市内の業界・企業の方々と協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
			項	4	都市計画費		耐震改修促進計画				
			目	1	都市計画総務費		根拠計画				
担当課	都市政策部 建築住宅課	内線	2318								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅や一定用途、規模以上の建築物に関して、耐震診断及び耐震改修工事に対する助成制度を実施し、地震に強い安全・安心なまちづくりを進める。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震診断に関する助成事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>木造住宅耐震診断委託、伝統構法木造建築物耐震診断に対する助成、建築物耐震診断(木造住宅以外)に対する助成</li> <li>耐震改修工事に関する助成事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>木造住宅耐震改修工事に対する助成、伝統構法木造建築物耐震改修工事に対する助成、特定建築物の耐震改修に関する助成</li> </ul> </li> <li>耐震啓発に関する活動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>市職員による相談会等の耐震啓発</li> </ul> </li> <li>ブロック塀等対策に関する助成事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ブロック塀等対策に対する助成</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
住宅耐震化率	65%	65%	95%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H30		H31			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		73,710	15,575	83,110	83,110	26,911	11,336
特定財源	国費(建築物耐震改修等事業費 11.5/100、1/3、1/2等)	10,600	2,159	14,600	14,600	7,404	5,245
	県費(建築物耐震化補助助成事業費 1/4等)	8,900	1,563	10,100	10,100	4,157	2,594
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)			2,800	2,800	200	200
一般財源		54,210	11,853	55,610	55,610	15,150	3,297
個票枝番	主な事業内容						
	木造住宅の耐震診断	5,000	882	5,000	5,000	655	△ 227
	建築物の耐震診断・耐震改修工事等に対する助成	56,700	14,428	55,100	55,100	16,042	1,614
◎ 1	ブロック塀の撤去等に対する助成	12,000	254	15,000	15,000	3,515	3,261
	耐震診断義務化建築物耐震化改修に対する助成						

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		214,210
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
43,177	214,210	214,210	131,100	
5,097	48,900	48,900	34,300	
4,341	67,950	67,950	57,850	
	200	200	△ 2,600	
33,739	97,160	97,160	41,550	
査定額	説明			
2,400				
28,800				
12,000				
171,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>助成等件数                     <ul style="list-style-type: none"> <li>木造住宅耐震診断事業委託 19件</li> <li>建築物耐震診断事業補助金 一般建築物 1件</li> <li>診断義務付け建築物 2件</li> <li>伝統構法木造建築物 2件</li> <li>建築物耐震改修工事補助金 木造建築物 2件</li> <li>伝統構法木造建築物 4件</li> <li>ブロック塀等対策事業補助金 4件</li> </ul> </li> <li>広報たかやまへ助成制度を掲載</li> <li>耐震診断を受けた方を対象とした個別相談会の実施、市職員による戸別訪問による啓発</li> <li>出前講座の実施</li> <li>岐阜県木造住宅耐震相談士への助成制度説明会の開催</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震強度が不足すると考えられる昭和56年5月31日以前建築の建築物を重点的に実施した。</li> <li>倒壊の恐れのあるブロック塀等の対策を実施した。</li> <li>伝統構法木造建築物耐震化マニュアルを活用した耐震化を一層推進する。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震強度が不足すると考えられる昭和56年5月31日以前建築の建築物を主として、建築物の耐震化を促進するため、啓発活動を継続的に実施していく。</li> <li>倒壊の恐れのあるブロック塀等につながるよう、個別相談会などのフォローアップを行う。</li> <li>伝統構法木造建築物耐震化マニュアルを活用して、伝統構法木造建築物耐震化の一層の推進を図る。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>助成等件数                     <ul style="list-style-type: none"> <li>木造住宅耐震診断事業委託 14件</li> <li>建築物耐震診断事業補助金 一般建築物 1件</li> <li>伝統構法木造建築物 2件</li> <li>診断義務付け建築物 1件</li> <li>建築物耐震改修工事補助金 木造建築物 4件</li> <li>伝統構法木造建築物 1件</li> <li>診断義務付け建築物 1件</li> <li>ブロック塀の撤去等補助金 22件</li> </ul> </li> <li>広報たかやまへ助成制度を掲載、市職員による戸別訪問による啓発、出前講座の実施、岐阜県木造住宅耐震相談士への助成制度説明会の開催</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震強度が不足すると考えられる昭和56年5月31日以前建築の建築物を重点的に実施した。</li> <li>倒壊の恐れのあるブロック塀等の対策を実施した。</li> <li>伝統構法木造建築物耐震化マニュアルを活用した耐震化を一層推進する。</li> <li>耐震診断義務付け建築物の安全対策への支援を行った。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震強度が不足すると考えられる昭和56年5月31日以前建築の建築物を主として、建築物の耐震化を促進するため、啓発活動を継続的に実施していく。</li> <li>耐震診断実施者が耐震改修工事につながるよう、新たな啓発活動を行う。</li> <li>耐震診断義務付け建築物の安全対策への支援を行う。</li> <li>危険性のあるブロック塀等の所有者に対しては、適切な管理を行うよう指導、助言を継続する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築物耐震改修工事に対する助成に必要な経費を計上</li> <li>倒壊の恐れのあるブロック塀の撤去等への助成に要する経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
-------------------	---------

市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに
--------------	------------

## 主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	74120 建築物耐震総合対策事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input checked="" type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	都市政策部 建築住宅課		
枝番・内容	1 ブロック塀等の撤去に対する助成		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	7	土木費				
			<input type="checkbox"/> その他重要事業			項	4	都市計画費			内線	2317
			<input type="checkbox"/>			目	1	都市計画総務費			作成年月	R2.8

## 事業の目的・概要(Plan)

目的	・災害時に倒壊のおそれのあるブロック塀等による被害を防止する。	概要	・災害時に倒壊のおそれのあるブロック塀等による被害の防止のため、ブロック塀等の撤去に要する経費を助成
----	---------------------------------	----	--

## 【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	0
	補正等	12,000
	最終	12,000
決算額		254
対前年度増減額(決算)		254

## 【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	15,000
主な経費	・ブロック塀等の撤去に要する経費に対する補助金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

## H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	15,000
	繰越	
	補正等	
	最終	15,000
決算額		3,515
対前年度増減額(決算)		3,261

## R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	12,000
主な経費	・ブロック塀等の撤去に要する経費に対する補助金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	・ブロック塀等対策事業補助金 4件
[評価等]	・倒壊の恐れのあるブロック塀等を撤去したのに対して、補助金を交付した。
次年度以降の考え方(担当課)	・地震発生時のブロック塀の倒壊による被害、緊急車両の通行や住民の避難の妨げを防止するため、所有者に対し適切な管理を行うよう指導、助言及び支援を継続的に実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・ブロック塀等の撤去に要する経費に対し補助
[スケジュール]	・H30.10.1 制度開始(申込受付開始)

事業実績・評価等	
[事業実績]	・ブロック塀等対策事業補助金 22件
[評価等]	・倒壊の恐れのあるブロック塀等を撤去したのに対して、補助金を交付した。
次年度以降の考え方(担当課)	・危険性のあるブロック塀等の所有者に対しては、適切な管理を行うよう指導、助言を継続する。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input checked="" type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・ブロック塀等の撤去に要する経費に対し補助
[スケジュール]	4月 申込受付開始

事業シート(平成31年度決算)

事業名	74125 空家等対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全、活用、創出	
			項	4	都市計画費		空家等対策計画			
			目	1	都市計画総務費		根拠計画			
担当課	都市政策部 建築住宅課	内線	2337							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家等の状況を把握し、適切に管理されていない空家等に対して、適切な管理を促すことで、地域住民の安全な生活環境を保全するとともに、空家等の活用を促進することで、住みやすいまちづくりを推進する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>高山市空家等対策協議会、高山市特定空家等審査会の運営</li> <li>空家等の実態、所有者調査の実施</li> <li>特定空家等の認定、指導、勧告、命令等の実施</li> <li>空家に対する相談</li> <li>老朽空家等の除却に対する支援、活用の提案方法、空家の流通促進を図る仕組みの構築</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
			6,442	6,427	3,692	3,692
特定財源						
国費( )						
県費(空家等対策事業費 1/3)			1,000	1,000	1,116	1,116
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)			1,000	1,000	1,000	1,000
一般財源			4,442	4,427	1,576	1,576
個票枝番	主な事業内容					
◎ 1	特定空家等審査会		292	292	64	64
◎ 1	空家等相談会の開催		100	100	85	85
◎ 1	空家活用コンテストの開催		1,000	1,000	111	111
◎ 1	老朽空家等の活用・除却に対する支援		5,000	5,000	3,350	3,350

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	6,492
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
9,114	6,492	6,492	50
1,660	1,000	1,000	0
7,454	5,392	5,392	950
査定額	説明		
292			
100			
1,050			
5,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定空家等審査会の実施(3回、審査基準策定と特定空家3件を審査)</li> <li>空家等相談会の開催(2回、13名)</li> <li>空家活用コンテストの開催(応募28件)</li> <li>老朽空家等の除却に対する助成(1件)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定空家等審査会を実施し、特定空家の判断基準を定めることができた。</li> <li>空家等相談会の開催による空き家に係る個々の問題解決、空家活用コンテストの開催による空家問題への関心を高める効果があった。</li> <li>助成により老朽空家が除却された。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家に係る個々の問題解決や空家問題への関心を高める施策を効果的に実施する。</li> <li>老朽空家の除却および空家等の利活用を推進する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定空家等審査会の実施(2回、71件を審査)</li> <li>空家等相談会の開催(4回、14名)</li> <li>空家活用コンテストの開催(応募17件)※コンテスト延期</li> <li>老朽空家等の除却に対する助成(4件)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家所有者へアンケートを実施し、活用等の意向を把握した。</li> <li>空家等相談会の開催により、空き家に係る個々の問題解決に向けた対応が促進された。</li> <li>助成により老朽空家が除却された。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家に係る個々の問題解決や空家問題への関心を高める施策を効果的に実施する。</li> <li>老朽空家の除却および空家等の利活用を推進する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	総合的な空家等対策の推進に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	74125 空家等対策事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input checked="" type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	都市政策部 建築住宅課
枝番・内容	1 空家対策の推進		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	7	土木費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	都市計画費	内線	2337	
		<input type="checkbox"/>		目		1	都市計画総務費	作成年月	R2.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・空家等の状況を把握し、適切に管理されていない空家等に対して、適切な管理を促すことで、地域住民の安全な生活環境を保全するとともに、空家等の活用を促進することで、住みやすいまちづくりを推進する。	概要	・空家等の除却を促進するための助成を行う。 ・空家の活用提案の募集を行い、優れた提案を公表することで、活用者を掘り起こし、空家の流通促進を図る仕組みを構築する。
----	--	----	---

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	6,196
	最終	6,196
決算額		1,707
対前年度増減額(決算)		1,707

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	6,442
主な経費	・老朽空家等の除却者への補助金 ・空家活用コンテスト開催に係る諸経費	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	6,442
	繰越	
	補正等	△ 15
	最終	6,427
決算額		3,692
対前年度増減額(決算)		1,985

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	6,492
主な経費	・老朽空家等の除却者への補助金 ・空家活用コンテスト開催に係る諸経費	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
<p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定空家等審査会の実施(3回、審査基準策定と特定空家3件を審査)</li> <li>・空家等相談会の開催(2回、13名)</li> <li>・空家活用コンテストの開催(応募28件)</li> <li>・老朽空家等の除却に対する助成(1件)</li> </ul> <p>【評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家等相談会の開催により、空き家に係る個々の問題解決に向けた対応が促進された。</li> <li>・空家活用コンテストの開催により、市民、地域、事業者等が新たな空家の活用方法を考え、情報発信することができた。</li> <li>・助成により老朽空家が除却された。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 空き家に係る個々の問題解決や空家問題への関心を高める施策を効果的に実施する。</li> <li><input type="checkbox"/> 老朽空家の除却および空家等の利活用を推進する。</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定空家等審査会の実施</li> <li>・空家等相談会の開催</li> <li>・空家活用コンテストの開催</li> <li>・老朽空家等の除却に対する助成</li> <li>・空家活用に対する助成</li> </ul> <p>【スケジュール】</p> <p>特定空家等審査会 随時開催            無料相談会 4回            空家活用コンテスト 1回            除却・活用に対する支援 随時</p>	

事業実績・評価等	
<p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定空家等審査会の実施(2回、71件を審査)</li> <li>・空家等相談会の開催(4回、14名)</li> <li>・空家活用コンテストの開催(応募17件)※コンテスト延期</li> <li>・老朽空家等の除却に対する助成(4件)</li> </ul> <p>【評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家所有者へアンケートを実施し、活用等の意向を把握した。</li> <li>・空家等相談会の開催により、空き家に係る個々の問題解決に向けた対応が促進された。</li> <li>・助成により老朽空家が除却された。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 空き家に係る個々の問題解決や空家問題への関心を高める施策を効果的に実施する。</li> <li>・老朽空家の除却および空家等の利活用を推進する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定空家等審査会の開催 委員6名、開催回数 8回</li> <li>・空家等相談会の開催 空家等の所有者・管理者のための無料相談会の開催 開催回数 4回</li> <li>・出張空家等相談会の開催 空家等の所有者・管理者のための無料相談会の開催 開催回数 2回</li> <li>・空家活用コンテストの開催 新たな空家の活用方法を見出すためのコンテストを開催 アマチュア向け、専門向けの2部門を公募</li> <li>・老朽空家等の活用・除却に対する支援 老朽空家等の活用・除却(解体)に対し助成 補助率:1/2、上限額:1,000千円</li> <li>・空家活用に対する支援 空家活用コンテストの入賞提案実現に対し助成 補助率:1/2、上限額:1,000千円</li> </ul> <p>【スケジュール】</p> <p>特定空家等審査会 随時開催            無料相談会 4回            出張空家相談会 2回            空家活用コンテスト 5月募集、10月審査            除却・活用に対する支援 随時</p>	

事業シート(平成31年度決算)

事業名	75100 市営住宅管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現	
			項	5	住宅費		市営住宅管理計画			
			目	1	住宅管理費		根拠計画			
担当課	都市政策部 建築住宅課	内線	2337							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅に困窮する市民に対して、低廉な家賃で住宅を供給し、生活の安定を図る。</li> <li>市営住宅の整備・改修を進め、居住者の生活環境の快適化を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者からの相談対応等の実施</li> <li>指定管理者との役割分担のもと、市営住宅の維持管理を行う。</li> <li>立地場所の需要に見合った供給量を確保し、住宅の適正配置を行う。</li> <li>計画的な整備工事を実施する。</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H30			H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		131,095	128,936	135,076	135,076	134,789	5,853
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( 公営住宅使用料、敷地占用料、督促手数料 等 )	110,556	128,936	111,845	111,845	134,789	5,853
一般財源		20,539	0	23,231	23,231	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	市営住宅の管理	22,464	23,282	20,510	20,510	23,504	222
	三福寺団地借上料(債務負担)	53,973	53,973	53,973	53,973	53,973	0
	施設整備・用地取得	46,173	44,803	54,800	54,800	51,609	6,806

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
117,453	127,606	127,606	△ 7,470
117,453	127,601	127,601	15,756
0	5	5	△ 23,226
査定額	説明		
23,800			
53,973			
44,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>滞納整理の強化(連帯保証人への通知、支所との連携)による徴収目標達成</li> <li>指定管理者との連携を密にした維持管理</li> <li>赤保木団地屋根、浴室設備 ほか整備工事</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の実情と需給バランスを考慮した住宅の適正配置が必要である。</li> <li>滞納傾向にある居住者への早期指導と連帯保証人を含めた滞納整理の強化が必要である。</li> <li>高額滞納者に対しては法的措置も含めた厳正な対応が必要である。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者と連絡を密にした維持管理を実施する。</li> <li>地域の実情に合わせて、配置の適正化を検討する。</li> </ul>

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>滞納整理の強化(電話による督促、支所との連携)による徴収目標達成</li> <li>指定管理者との連携を密にした維持管理</li> <li>赤保木団地浴室設備、被災棟解体 ほか整備工事</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等総合管理計画に基づき、地域の実情と需給バランスを考慮した住宅の適正配置が必要である。</li> <li>滞納傾向にある居住者への早期指導と連帯保証人を含めた滞納整理の強化が必要である。</li> <li>高額滞納者に対しては法的措置も含めた厳正な対応が必要である。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者と連絡を密にした維持管理を実施する。</li> <li>地域の実情に合わせて配置の適正化を検討する。</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	市営住宅の適正管理に必要なを計上
---------------------	------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに